

主治医での対応の流れ（参考例）

| 質問票の項目及び該当数 7：歩行速度（1 はい） 8：転倒経験（1 はい） 9：運動習慣（2 いいえ） | 後期高齢者 | 主治医 （健康診査実施医師） | 整形外科医・ 府医「ロコモ研修」 受講医師等 |
|--|-------|--|---|
| 3項目全て該当（対応A） | | <p>健康診査の実施</p> <p>紹介</p> <p>整形外科医・ロコモ研修 受講医師等への受診を勧奨</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・鑑別診断 ・骨粗鬆症診断 ・治療 ・運動指導等 |
| 1～2項目該当（対応B） | | <p>健康診査の実施</p> <p>配付</p> <p>資料①</p> | |

市町村での対応の流れ① (筋骨格系・結合組織の疾患治療者・要介護2以上以外)

| 質問票の項目及び該当数 7：歩行速度（1 はい） 8：転倒経験（1 はい） 9：運動習慣（2 いいえ） | 市町村 | 後期高齢者 | 主治医(健康診査 実施医師) |
|---|---|---|--|
| <p>1～2項目該当 (対応C・D)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の健康状態や性格特性・生活背景等を総合的に判断し支援方法を決定 市町村の判断で2項目該当者を個別、1項目該当者を集団とすることも可 | <p>健康診査結果の把握</p> <p>↓</p> <p>KDBから対象者を抽出</p> <p>↓</p> <p>筋骨格系治療・要介護2以上を除外</p> <p>↓</p> <p>対象者へ事業説明・意向確認</p> <p>↓</p> <p>対象者の状態に応じて ①個別的支援または ②集団的支援を実施</p> <p>↓</p> <p>事業評価</p> | <p>他情報も加味して絞込む 【保険者が保有する情報】 ・属性（性・年齢）、過去の事業参加状況、受療状況等</p> <p>【他部署が保有する情報】 ・世帯情報、介護情報（認定状況、ニーズ調査状況）等</p> <p>資料② (表面)</p> <p>参加意向あり</p> <p>↓</p> <p>介護予防事業等の活用</p> <p>↓</p> <p>地区医師会等を通じて事業報告</p> | <p>資料② (裏面)</p> <p>事業参加にあたり注意事項があれば患者へ指導</p> <p>↓</p> <p>事業内容の確認</p> |

市町村での対応の流れ② (筋骨格系・結合組織の疾患の治療者)

| 質問票の項目及び該当数 7：歩行速度（1 はい） 8：転倒経験（1 はい） 9：運動習慣（2 いいえ） | 市町村 | 後期高齢者 | 整形外科 主治医 |
|--|--|---|-------------|
| 1～2項目該当 (対応E・F) | <pre> graph TD A[健康診査結果の把握] --> B{KDBから対象者を抽出} B --> C{筋骨格系治療者を抽出} C --> D[郵送等により対象者へ情報提供] </pre> | <pre> graph LR D[郵送等により対象者へ情報提供] -- "資料③ (表面)" --> E[整形外科主治医へ報告] E -- "資料①" --> E E -- "資料③ (裏面)" --> F[必要な運動指導等を実施] F --> E </pre> | 必要な運動指導等を実施 |